



かながわワイド

神奈川 新 THE KANAGAWA 聞

2022年[令和4年]

12月1日[木]

赤口

夜間中学を例に「多文化」を考える
今春、相模原市に開校した公立夜間中学「市立大野南中学校分校夜間学級」(同市南区)を事例に、在留外国人について考える「多文化教育セミナー」が12月3日、町田市文化交流センター(東京都)で開かれる。

在留外国人を取り巻く教育現場の実情や課題について、全国の例を交えながら学ぶ。

一般社団法人・多文化教育研究所の主催で、相模原市教育委員会の後援。

セミナーでは、外国人労働者問題に詳しい指宿昭一弁護士が「在留外国人が抱える日本の現状」(仮題)をテーマに講演。市教委の担当者による夜間中学の概要説明や、自主夜間中学を運営する市民団体「相模原の夜間中学を考える会」代表の吉田恵一さんからの報告もある。

同研究所の大重史朗代表理事は、「今後も外国人は増え続ける。共生していくためにも実情を知ってもらいたい」と話している。
午後1時半から。定員80人。資料代2千円(学生は千円)。事前申込制。参加希望者は、メール(tahun.kaof@yahoo.co.jp)に名前、所属、連絡先を記して申し込む。